

新潟医療センターニュース

第2号

発行 JA新潟厚生連
新潟医療センター
発行責任者 田中憲一

人生の1/3を占める睡眠の質がどうなのか？ あまり考えた事はありませんが、大切な事だろとうという事は分かります。医療講話として、呼吸器内科の杵淵先生に「睡眠時無呼吸症候群」についてお話を伺いました。

睡眠時無呼吸症候群とは

寝ている間に呼吸が止まる病気で、その大部分は息を吸うときに空気の通り道が塞がることによって起こります。首が太

くて短い、舌や口蓋垂が大きい、顎が小さい、扁桃腺が大きい、鼻の空気の通り道が曲がっている場合には無呼吸が起こり易くなります。睡眠時無呼吸症候群の主な症状は、大きないび

睡眠時無呼吸症候群

医療講話



呼吸器内科部長 **杵淵 進一**

き・日中の眠気や倦怠感・起床時の頭痛です。その他、熟眠感の欠如・記憶力や集中力の低下・夜間の中途覚醒や頻尿などがあげられます。この病気は成人男性の三〜四％にみられ、国内の潜在患者数は二〇〇〜三〇〇万人と推定されており、身近でありふれた病気です。

睡眠時無呼吸症候群は、高血圧症・糖尿病・高脂血症などの生活習慣病と密接な関係があり、動脈硬化の危険性が増して心筋梗塞や脳梗塞などの心血管疾患が生じ易くなり、その結果として死亡率が高くなります。また睡眠時無呼吸症候群によって生じる日中の眠気は、仕事や運転中に悪影響を与えかねず、運転中の眠気や居眠り運転の経験割合が睡眠時無呼吸症候群では四〜五倍、中等症以上の睡眠時無呼吸症候群では交通事故を起こす頻度が七倍も高くなるとの報告があります。

検査方法は

睡眠時無呼吸症候群の検査には、自宅で手軽にできる簡易検査と専門施設に入院して行う精密検査があります。簡易検査は手の指や鼻の下にセンサーをつけて検査を行います。より詳しく睡眠と呼吸の状態を調べるためには、精密検査として終夜睡眠ポリグラフ（PSG）検査が必要です。入院して脳波や心電図・酸素モニターなど多くのセンサーを装着した状態で一晩寝て頂き、睡眠中のいびきや無呼吸の程度・眠りの深さ・酸素の状態などを測定します。無呼吸・低呼吸が一時間に五回以上あると睡眠時無呼吸症候群と診断され、五〜十五回を軽症、十五〜三十回を中等症、三十回

医療豆情報
多焦点眼内レンズ

白内障という病気をご存知でしょうか？

白内障とは眼の中の水晶体というレンズが濁る病気です。

一般的な症状は、眼のかすみ、明るい所へ出るとまぶしい、ぼやけて二重に見えるなどで、加齢によるものが大半を占めますが、中にはアトピーや糖尿病、外傷などが原因で若いうちから症状が出る場合もあります。

白内障が進行した場合は、手術をして濁ったレンズを取り出し、新しい人工の眼内レンズをいれます。

いままでの単焦点眼内レンズは、遠くか近くのどちらかにピントを合わせ、術後には必要に応じて眼鏡を使用するのが一般的でした。

新たに開発された遠近両用多焦点眼内レンズは、様々な距離



にある程度ピントが合うため、術後に眼鏡を必要とする機会を大幅に減らすことができ、生活の質の向上が期待されます。しかし高額な眼内レンズを使用するため、現在のところ当治療は保険診療対象外で全額自己負担となります。

治療費 片眼三八五、〇〇〇円
両眼七二六、〇〇〇円

また希望されても、眼の状態によっては使えない場合もございます。

詳しくは眼科スタッフまでご相談ください。（記事／宮北）

治療法は

以上を重症と分類します。

太っている場合にはまずは減量です。やせることで首周りの脂肪が減少して空気が通り易くなります。中等症以上の場合には、寝るときに気道が塞がらないように加圧した空気を鼻へ送り込む装置「CPAP（シーパップ）」を使用するのが最適です。軽症の場合には、顎を少し前方に出して気道を広げる口腔内装置（マウスピース）を用いることがあります。また鼻づまりや扁桃肥大があると耳鼻科的手術が行われる場合があります。心当たりのある方は、是非早めに当院を含め専門医療機関を受診して検査を受けて下さい。

（裏面もご覧ください）

● 新潟医療センターの今 ●

新潟医療センターとして生まれ変わり、五年目を迎えました。診療をストップする様な大規模工事は無いにせよ、この間、様々な改善事業を行ってまいりました。昨年度の事業成果として、この四月から産科病棟を新設いたしました。新年度に向けた新たな改善計画があるのか等、「新潟医療センターの今」ということで高橋事務長にお話を伺いました。

病院機能評価受審について

医療を提供する上で、適切な機能が整っているかを第三者機構に委ね、常により良い病院づくりを目指すため、平成二十年に公益財団法人日本医療機能評価機構の審査を受審し、認定基準を達成していることが認められ、病院機能評価認定証が交付されました。

それから五年が経過し、更新の時期となりました。前回の病院機能評価受審では、当院の現状を客観的に把握することがで

き、見落とされていた事項を指摘され具体的に改善することができました。また職員の意識改革にもつながりました。

今回から審査内容が改正され、審査項目が簡素化されました。これは、今までの書類審査中心から診療現場審査を重点に置くよう変わったためで、よりいっそう実態に合った評価が期待できます。来年春には更新の認定証が交付されるよう、今までやってきたことの再認識と、再検証をしながら全職員が取り組んでおります。

病理センター開設について

身体から採取された臓器や組織を調べ、がんの発見や疾患の診断に役立てる病理検査室がこれまで当院には無く、外部検査機関に委託しておりました。

このたび病理医の赴任により、院内で病理検査ができるよう建物の改修工事を進めております。騒音などご迷惑をお掛けしておりますが、来年一月末には工事も完了し、二月から病理センターが開設されます。以前より迅速に検査の結果が期待でき、がん治療に貢献できます。これからも患者さんに質の高い医療を提供し、満足していただける病院づくりに努めていきたいと考えております。

事務長 高橋 茂

当院産科の基本方針



新任医師紹介

新潟医療センターニュース発行日の関係でご紹介が遅れましたが、10月より3名の医師・1名の研修医が赴任されておりますのでご紹介いたします。



整形外科 藤井 俊英



整形外科 島田 勇人

抱負 新潟大学を卒業後、水戸済生会病院、新潟大学医歯学総合病院で整形外科医として研鑽し、この十月から当院でお世話になっております。骨折・外傷はもちろんのこと、当院整形外科の特徴であるスポーツ整形を学び、患者さんによりよい医療を提供できるように励んでまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



神経内科 有泉 優子

抱負 神経内科常勤医師として十月より着任いたしました。神経内科で診療する疾患としては、脳血管障害、認知症、パーキンソン病等の変性疾患が多く対象となります。診断のためには、診察に加えて脳MRI、頭部CT、脳血流シンチグラフィなどを行います。いずれも生活の質に大きく関わる病気であり、内服薬やリハビリテーションにより、できるだけ変わ



研修医 染矢 圭一郎

りない日常を送ることを目指していきます。生活を維持することが難しくなった場合でも、ご本人やご家族のご希望に沿えるよう、介護保険などの公的サービスの紹介や調整のお手伝いをしたり、近隣の医療機関との連携をはかりながら、包括的な医療に取り組んでいきたいです。よろしくお願ひいたします。

抱負 初めまして、研修医一年目の染矢圭一郎です。他県の大学に進学しましたが、学生時代の大半を過ごした新潟でお世話になった多くの方々の役に立てれば、と思い新潟県で研修することを選びました。四月から新潟大学医歯学総合病院で研修を始め、十月より協力型病院としての当院で研修をさせていただいております。新潟市西区出身ということで、当院での研修を希望しました。

研修医になって半年が経ちましたが今でもまだ分からないことが多く、役に立つどころか、学ばせてもらってばかりの毎日です。これからも知識や手技、診察法など多くのことを吸収しつつ、少しでも患者様の力になれるよう頑張りたいと思います。一年間宜しくお願ひ致します。